



子育てワンポイント

100

Q 夏の感染症には、どんなものが、ありますか?

A 夏に子どもがかかりやすい感染症の代表は、ヘルパンギーナや手足口病、ブルー熱(咽頭結膜熱)などの夏風邪です。これらの病気は、ウイルス性の風邪なので、数日から1週間ほどで治りますが、感染力が強いものは、家族もうつたり、悪化したりする場合があります。

夏場は、暑さでどうしても抵抗力が落ちやすいので、食事や睡眠、休息を普段より多めにとるなど疲れをためないように工夫しましょう。

特に乳幼児は、体温調節が未熟なため、感染症以外に熱中症やとびひなども心配です。子どもが急にぐつたりとして、顔色がおかしいと感じたら体温を測るなど様子に気を配りましょう。一日の中でも暑さが厳しい時間(午前10時～午後2時)は、紫外線も強いため、戸外での活動は避け、室内や日陰で過ごすようにし

問 開成町子育て支援センター

☎ 84-1222

開 成小学校の二年生は、生活科の学習で、野菜とポップコーン用のとうもろこしを育てています。野菜の種類は、きゅうり・なす・ピーマン・ミニトマト。子どもたちが育てたいと考えた野菜を選び、一人一つずつ世話をしています。

そ のような中、台風四号が接近しました。開成町で子どもたちは、登校して、水やりをしたり除草したり、自ら進んで野菜の世話をしています。

開 少年会員の永田祥久さんは、「**野菜を育てて…**」と心配した子どもたちは、登校するなり野菜のところへ駆け寄り、様子を確認していました。「先生、倒れちゃったけど、私のトマトは大丈夫?」と、とても心配していました。強風の影響で、支柱で支えていた野菜が倒れかかっていました。やつと実をつけ始め、収穫間近になっていた野菜のことが気になつたのでしょうか。そんな姿がとてもすてきに思えました。

自 分たちで野菜を育てることで、食べ物に対する考え方を少し変わってきたように思います。収穫することができた子の日記には、自分が育てた野菜を家族と一緒に食べ、「おいしい」と言つ



野 蔬を育てること、学ぶことを通じて、子どもたちは様々なことを学び、すてきな何かを得ることができます。これからも、学校生活を通して、かけがえのない、多くのことと出会つていってほしいと願っています。

Q 夏の感染症には、どんなものが、ありますか?

A 夏に子どもがかかりやすい感染症の代表は、ヘルパンギーナや手足口病、ブルー熱(咽頭結膜熱)などの夏風邪です。これらの病気は、ウイルス性の風邪なので、数日から1週間ほどで治りますが、感染力が強いものは、家族もうつたり、悪化したりする場合があります。

夏場は、暑さでどうしても抵抗力が落ちやすいので、食事や睡眠、休息を普段より多めにとるなど疲れをためないように工夫しましょう。

特に乳幼児は、体温調節が未熟なため、感染症以外に熱中症やとびひなども心配です。子どもが急にぐつたりとして、顔色がおかしいと感じたら体温を測るなど様子に気を配りましょう。一日の中でも暑さが厳しい時間(午前10時～午後2時)は、紫外線も強いので、戸外での活動は避け、室内や日陰で過ごすようにし

Q 夏の感染症には、どんなものが、ありますか?

A 夏に子どもがかかりやすい感染症の代表は、ヘルパンギーナや手足口病、ブルー熱(咽頭結膜熱)などの夏風邪です。これらの病気は、ウイルス性の風邪なので、数日から1週間ほどで治りますが、感染力が強いものは、家族もうつたり、悪化したりする場合があります。

夏場は、暑さでどうしても抵抗力が落ちやすいので、食事や睡眠、休息を普段より多めにとるなど疲れをためないように工夫しましょう。

特に乳幼児は、体温調節が未熟なため、感染症以外に熱中症やとびひなども心配です。子どもが急にぐつたりとして、顔色がおかしいと感じたら体温を測るなど様子に気を配りましょう。一日の中でも暑さが厳しい時間(午前10時～午後2時)は、紫外線も強いので、戸外での活動は避け、室内や日陰で過ごすようにし

市街地では、降った雨が地下水に浸透しないで、一気に河川や水路に流れ込みます。開成町でも市街化が進むとともに、近年多発する短時間に降る大雨のため、河川や水路があふれやすくなっています。この補助金は、神奈川県で実施している水源環境保全・再生市町村交付金を活用しています。

市街地では、降った雨が地下水に浸透しないで、一気に河川や水路に流れ込みます。開成町でも市街化が進むとともに、近年多発する短時間に降る大雨のため、河川や水路があふれやすくなっています。この補助金は、神奈川県で実施している水源環境保全・再生市町村交付金を活用しています。

市街地では、降った雨が地下水に浸透しないで、一気に河川や水路に流れ込みます。開成町でも市街化が進むとともに、近年多発する短時間に降る大雨のため、河川や水路があふれやすくなっています。この補助金は、神奈川県で実施している水源環境保全・再生市町村交付金を活用しています。

市街地では、降った雨が地下水に浸透しないで、一気に河川や水路に流れ込みます。開成町でも市街化が進むとともに、近年多発する短時間に降る大雨のため、河川や水路があふれやすくなっています。この補助金は、神奈川県で実施している水源環境保全・再生市町村交付金を活用しています。



【補助対象者】
町内の土地を所有または使用し、雨水浸透ますを設置予定の方

- 雨水のみが浸透すること(足洗い場などからの接続はできません)
- 1宅地に2個以上の雨水浸透ますを設置すること
- 雨水浸透ますは、塩化ビニル製の場合、呼び径300ミリ・高さ400ミリ以上
- リート製は、別の基準となります

【補助内容】
1個あたり1万2000円で4万8000円(4個まで)を限度に補助します。
*この補助金を受けた場合、雨水浸透ますの機能維持保全に努めなければなりません。
雨水浸透ますとは、側面や底面に穴が空いた「ます」で、雨どいなどから入ってくる雨水を受け、地中へ浸透させるものをいいます。

【補助内容】
1個あたり1万2000円で4万8000円(4個まで)を限度に補助します。
*この補助金を受けた場合、雨水浸透ますの機能維持保全に努めなければなりません。
雨水浸透ますとは、側面や底面に穴が空いた「ます」で、雨どいなどから入ってくる雨水を受け、地中へ浸透させるものをいいます。

6月23日(土)、スポーツ現場で起こり得る怪我や事故に対する応急手当を学ぶため、スポーツ推進委員や少年少女スポーツ団体の関係者13人が参加し、救命基礎講習会が開催されました。

講習会では、町防災安全専門員が講師となり、心肺蘇生法とAED(自動体外式除細動器)の実技訓練を中心に、ネクタイ、タオルなど身の回りのものを使用した応急手当などを学びました。

身の回りのものを使用した応急手当については、初めて体験する受講者も多く、今回講習会を通じて、スポーツ現場で起こり得る怪我や事故に対する知識を学ぶことができました。



神奈川県では、県民の皆さんに運動やスポーツに親しみ、健康で明るく豊かな生活を送っていただくために、**1日30分・週3回・3ヶ月間** 繼続して運動やスポーツを行う**『3033運動』**を推進しています。

1日30分 意識的に身体を動かしてみましょう。続けて30分行うことが無理な人は、1回に10分の運動を合計して30分でも結構です。

週3回 できれば、2日に1回行いましょう。

3ヶ月間 繼続することで、運動の効果が現れ、運動習慣も身に付きます。

あなたもウォーキング、階段の上り下りなどを行ってみてはいかがですか？
3033運動であなたのからだがヨミガエル、ミチガエル、ワカガエル！